

ジョブクラフティング研修

対象者：一般職員～中堅職員

1. 研修の目的

本研修は、職員が仕事に対する主体性を高め、現在の業務を「やらされ仕事」から「やりがいのある仕事」へと自ら変革できる力を育成することを目的としています。

- ・職員のエンゲージメントの向上：自分の仕事に意味と価値を見出し、能動的に業務に取り組む姿勢を醸成する
- ・主体的な業務改善の促進：自ら工夫し、小さな改善を積み重ねる習慣を身につける
- ・職場コミュニケーションの活性化：周囲との関わり方を見直し、協働の質を高める

2. 研修内容

	カリキュラム	詳細・得たい成果
3時間	1.ジョブクラフティングの理解と自己診断 1) ジョブクラフティングの定義と背景 2) 3つの工夫の全体像 ① 仕事のやり方への工夫 ② 人との関わり方への工夫 ③ 仕事の捉え方への工夫 【ワーク①】それぞれの仕事について充実度を評価 2.仕事の捉え方を変える 1) レンガ積み職人の寓話 2) 仕事の意義を再発見する 3) 仕事の意義を考える3つの問い 【ワーク②】「不満・停滞感のある仕事」について分析 【ワーク③】強みの再発見 3.仕事のやり方を工夫する 1) 仕事のやり方を変える5つのヒント 【ワーク④】タスククラフティング実践シート作成 4.人との関わり方を見直す 1) 関係性クラフティングの重要性 2) 関係性を変えると仕事の質が変わる 【ワーク⑤】関係性マップ作成 5.マイ・ジョブクラフティング宣言 1) 本日の学びを振り返る 2) 明日から実践する3つのアクションを決める	・ジョブクラフティングの概念と3つの工夫が理解できる ・自分の仕事の現状を客観的に把握できる ・改善したい仕事を特定し、研修への意欲が高まる ・自分の仕事が誰にどのように役立っているかを再認識できる ・不満だった仕事にも意味や価値を見出せるようになる ・自分の強みを再発見し、仕事に活かす視点を持てる ・「やらされ感」から「やりがい」への意識転換が始まる ・困りごとを改善のチャンスと捉える思考が身につく ・具体的で実践可能な業務改善アイデアを持ち帰れる ・小さく始める重要性を理解し、実践への心理的ハードルが下がる ・コミュニケーションの質を高める方法がわかる ・関係の変化が仕事の質も変わることを理解できる ・明日から実践できるアクションプランが完成する ・3つの工夫をバランス良く実践する意識が持てる